

1月 定例教育委員会会議録

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 日 時 | 令和4年1月28日（金） 午後3時00分から午後4時30分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
青島美子委員、秋元富敏委員、大橋弘和委員 |
| 4 | 出席職員 | 市川 暁教育部長、神谷愛三郎教育総務課長、内藤弘隆学府一体校推進室長、
水野康代学校給食課長、吉村康宏学校教育課長、鈴木都実世中央図書館長、
伊東直久文化財課長、磯部公明地域づくり応援課長、
伊藤真徳スポーツ振興課長補佐、金子和由文化振興課長、富田和孝福祉課長、
川島光司幼稚園保育園課長、内野恭宏放課後児童支援室長 |

傍 聴 人 0人

(進行委員：大橋弘和委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

○学校の新型コロナウイルス感染症の状況ですが、オミクロン株が流行し始めています。デルタ株からオミクロン株に変わり、今までは行動調査が一番のポイントとしてきていて、学校へ入る前、特に親御さんとの関わりが重要となり、PCR検査等を行い行動調査をすることによって、学校や幼稚園へ行かないようお願いすることでなんとか感染を防いできました。しかし、今はどこにでも感染者がいる状況となり、感染者がいるのが当たり前ということを前提にして、いかに拡大させないかがポイントです。そういった中で、積極的に学級閉鎖、学校閉鎖、幼稚園の閉鎖を行い、また、その閉鎖の基準を示すことにより、感染が拡大していくのを防ぐという視点で行っています。

幼稚園もある程度の感染者が磐田市内で出ており、1日に感染者が数名出て数名良くなるという状況になっています。図書館も来館者が沢山いて大変だと思います。給食も調理員の関係がありますので、感染拡大しないように努め、力と心を合わせて、このオミクロン株を乗り越えていきたいと思っています。

3 前回議事録の承認

12月17日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○市議会が2月中旬から始まります。主に予算の審議となりますが、市の全体の予算額は一般会計で約648億円です。前年と比べると約22億円の減額になりますが、前年は市民文化会館関係で約50億円が計上されていたので実質的には増とも言えます。教育委員会は約70億円ということで、前年並みとなっています。

新型コロナウイルス感染症について、昨日から県内はまん延防止等重点措置の区域となりました。軽症の方が多いと聞いていますが、感染者数は未だかつてないほどの広がりを見せています。引き続き感染対策に努めていきたいと思っています。

<質疑・意見>

なし

5 議事

・議案第1号 令和4年度磐田市教育行政に係る一般方針の策定について

○令和4年度の教育委員会の目標や方針については9月の定例会でご意見をお伺いしたもので、目標は前年度に引き続き「ふるさとを愛し 未来をひらく 心豊かな磐田市民」としています。目標を達成するための3つの方針についても変更はありませんが、各方針の下段や各施策に記載した説明については委員の皆様のご意見を基に変更しています。

方針2は「多様性を大切に」以降を「心温かな地域コミュニティを活用し、地域ぐるみで郷土愛に満ち溢れた子どもの成長を支えます」へ、方針3は「豊かな人生を送れるよう」の前に「豊富な語彙により」を追加しています。また、方針2施策1の「歴史教室、未来授業」を先頭に移動し、方針2施策2は地域連携室を追加するなどお手元の資料の通り変更しています。また、令和4年度の当初予算に合わせて、各施策の具体的な事業を更新していることと、現在進めている主な事業を時系列順から重点事業順に変更しています。

なお、このリーフレットは今後レイアウトも含め業者へ発注しますので、今は文字が少し小さいですが見やすいものになる予定です。

<質疑・意見>

■方針1施策2の「個に応じたきめ細やかな支援」のところで、現在書かれているのは困っている声への対応だと思いますが、ステップアップしたり自分の才能を活かしたりしたい人への適切な支援に関する内容を入れるとよいと思います。

□施策という中ではこれというものは特にありませんが、日々の教育活動の中では個に応じた支援を進めている所です。

□事業ではなく、何か具体的にやっていることがあれば、追加することは可能ですので、プラスの支援についても加えたいと思います。

□個に応じたきめ細やかな指導・支援は、個別最適化の学習への展開などで、今力を入れて進めているところであり、比較的予算をかけた大きな事業なので、そのような言葉を入れるとよいと思います。

■方針3施策3の「図書館サービスの向上」で、ながふじ図書館について一般開放していて大変良い試みだと思いますが、一般の方の平日の昼間などの利用率が気になっています。その辺りを上手く活用してもらえるようなことを今後考えていただきたいと思しますので、今後の予算立てを含め、一般の方が入りやすい図書館づくりをしてほしいと思います。

□学校図書館ですので、今年度については、学校の子も達が一番利用しやすいようにという思いでやってきていますが、今言われたように、地域の方への周知が十分にはされていないと思いますので、まずは知っていただくことと、知ってもらった上で入りやすい図書館にしていく必要があると思います。

■「3. これからの課題」について、「③図書館資料の充実と中高生・高齢者の利用の促進」は、明らかに中高生と高齢者の利用率が低いため促進と書かれているのでしょうか。

□いわゆる中高生というのはYA世代と図書館の世界ではよく言われますが、YA世代の利用というのはやはり低くなっているのが現状です。中高生は勉強をするための来館はありますが、その利用が書籍等資料を借りることにはつながっていません。その辺りの状況は磐田の図書館だけでな

く、全国的な課題と言われているところです。幼児期の絵本から段々と一般書籍に移行していくのが上手いかずに本から離れてしまうという傾向もあると思いますので、考えていく必要があると思います。

また、高齢者については視力的な問題で読みづらくなってしまうといったこともあるので、今は大活字本も導入しています。そういったものの読みやすさが知られてきていて、これは読みやすいからこればかり読んでいるという声もいただいております。その辺のPRも更に深めながら資料の種類も多くして親しんでいただくようにしたいと思います。

■世代別に見て明らかに中高生・高齢者の利用率が落ちているということであればこの記載内容でよいかと思えます。高齢者というと70代以上の方ですか。

□そうです。以前と比べ大活字本により利用率が上がってきたと思えます。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第1号は原案どおり承認された。

・議案第2号 令和4年度磐田市一般会計予算（教育費関係）の要求について

○各課から概要をご説明させていただきます。

地域づくり応援課

○新規事業は特にありませんが、若干補足説明をさせていただきます。

交流センター等施設管理事業は、学習交流センターがある天平の街再開発ビルの全体の中規模修繕費が、前年比400万円程減少しましたが、事業内容に大きな変更はありません。

なお、令和5年度開校予定の夜間中学に関する経費は、施設改装費などを含め、原則全て県の負担となりますので、来年度以降もそれに伴う予算増額は想定していません。ただし、セキュリティの面などビル全体の管理運営に関しては若干の変更が生じる可能性がありますので、来年度、県教育委員会と詳細について協議していきたいと考えています。

次に、今年度まで地域活動支援事業の中で、子ども若者育成や家庭教育推進と一緒に、小規模多機能自治に関する予算を含めて計上していましたが、来年度はこれらを分割し、地域活動支援事業に代えて、事業名を小規模多機能自治推進事業として特だしをしました。従来の子ども若者育成や家庭教育推進については、全て生涯学習推進事業に移行したため、表記のような増減が生じる結果となりました。

なお、成人のつどい開催経費が大幅に減額となっておりますが、昨年度来、コロナ禍での開催方法を検討してくる中で、旧市民文化会館に代わる会場として、かぶと塚の総合体育館メインアリーナの会場設営費を確保していましたが、来年度は新しい市民会館が完成することから、この予算計上は必要が無くなったため減額をしています。

スポーツ振興課

○体育施設管理事業及びその他の体育施設管理事業は、主に体育施設の管理運営や施設の改修・修繕及び学校体育施設の開放に係る経費を計上しています。体育施設管理事業については大幅な増額となっております。

次に、市民スポーツ活動支援事業ですが、オリンピック・パラリンピックの終了に伴い、市民スポーツに関する事業を包括的に行うため、従来のスポーツ教育等開催事業と戦略的スポーツイベント活用事業を本事業に統合しました。

次に、地域スポーツクラブ事業については、今年度から事業の執行は学校教育課へ移管されてお

り、次年度からは予算も移管されます。

次に、ジュビロ磐田ホームタウン推進事業ですが、今年度実施しました、ふるさと納税型クラウドファンディングの終了を受け、大幅な減となっております。

次に、ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業ですが、児童の移動用バスの増加を見込み予算が増額となっております。

最後に、スポーツ振興事業ですが、スポーツ振興課全体に係る事務経費を計上しており、主には電波法の改正に伴い、イベント等に使用しているトランシーバーをデジタル方式に更新することに伴う増額となっております。

文化振興課

○新しい市民文化会館の建物が完成し、現在は備品等を揃えて入れているところです。緞帳などが3月に入ってくるので、それらが全て揃いましたら再度ご案内します。開館は7月30日です。8月2日に人間国宝で狂言師の野村万作、野村萬斎父子による三番叟をこけら落とし公演として開催する事になりました。開館記念事業としてこちらの事業にも関連してきますが、主なものとして東京フィルハーモニー交響楽団と市民等による交響曲第9番の合唱や、自衛隊との合同による演奏会など多数予定しています。

初めに、文化芸術振興事業ですが、今説明させていただいたとおり、新しい会館で文化振興会が行う文化芸術鑑賞事業に対して支援を行うための補助金です。オープニングイヤーということで例年より沢山の事業を行うことで増額しています。

次に、文化芸術活動支援ですが、磐田市の芸術祭や文化協会の補助金となります。増額の理由はこちらのパネルを購入することによるものです。

次に、青少年文化芸術活動育成支援事業ですが、青少年の文化芸術に対する活動の育成費用です。例えば、磐田市のマーチングバンドや磐田こどもミュージカルへの支援です。今回、磐田こどもミュージカルの修了公演が新しい会館のオープンに合わせて開催されますので、そちらを除いた部分の増額となります。

最後に、香りの博物館施設管理事業ですが、空調設備機器の老朽化による改修工事をするための増額となります。

福祉課

○来年度の人権啓発推進事業費は615万8千円で、前年度比43万8千円の増額となります。来年度の事業については、新規事業はありません。

人権講演会の開催をはじめ、啓発冊子の発行、ふれあい交流センターでの各種講座の開催、ジュビロ磐田への委託による人権サポーターマッチの開催などを計画しています。

事業費の主な増額理由については、来年度開催する人権教育講演会において、LGBTをテーマとした開催を予定しており、講師の派遣費用が50万円程増額となっております。この講演会については、先日の本市の定例記者会見において紹介していますが、令和4年度から学びを基にした新たなまちづくりを目指すためのプラットフォーム「磐田ここからラボ」が創設されることになり、来年度の事業の内容にはいくつかの講演会も予定されています。この人権講演会も、その事業の一環として位置づけされることになりました。一方で、減額した部分は来年度に全国隣保館研修会がないことによる旅費の減額や人権啓発冊子の印刷費の減額によるものです。

来年度も新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、感染予防等の徹底をはじめ、状況に応じて柔軟な対応をしていきたいと思っています。

幼稚園保育園課

○幼稚園施設管理事業（本課分）については、保護者の利便性の向上と園事務の効率化のため、園児の登園・降園時間の管理を始めとした園業務支援システムを導入するなど、ICT化を推進する経費を新たに計上することなどにより446万5千円の増額になっています。

次に、幼稚園施設管理事業（園分）になります。こちらは新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、衛生用品購入に係る経費を増額した他、給食回数を150回から160回に増やしたことに伴い、給食賄材料費が123万9千円の増額となったものです。

次に、幼稚園施設整備事業については1,380万3千円の減額となりました。主な理由として、前年度予算化した東部幼稚園の文化財調査に伴う掘削・埋め戻し経費や岩田こども園解体工事に係る経費が減額となったことから全体として減額となっています。

次に、公立幼稚園運営事務については152万円の減額となります。主な理由として、遠足バスの借り上げ料135万円を減額したもので、園の遠足については、原則、市バスを利用することとしたものです。

最後に、私立幼稚園施設利用費等補助事業については、全体として5,380万9千円の増額となりました。主な理由として、施設給付において富士見幼稚園が新制度に移行することとなったため、8,236万7千円の増額となったものです。

教育総務課

○初めに、放課後児童クラブ運営事業は保護者が就労等により、昼間、家庭で保育できない児童に安全安心に過ごせる居場所の提供と民間事業者が運営する児童クラブに補助を行うものです。市内の児童数は減少傾向にありますが、児童クラブへの申込者数は年々増加しており、人口増加の多い地区では待機児童が発生しています。令和4年度は待機児童の多い青城小学校へクラブを新設するための工事費等を計上したことや民間クラブへの補助金単価を増額したことから本年度当初と比較し、5,302万4千円増額の1億4,790万8千円を計上しています。

次に、向陽学府新たな学校づくり整備事業は令和8年度の開校に向け、令和4年度は基本・実施設計、地質調査などに関わる経費1億4,035万8千円を計上しています。なお、本年度は新たな学校づくり整備事業という事業予算の中に、基本構想・基本計画策定や領地測量の委託費を計上していましたが、令和4年度予算では新たに事業立てしています。

次に、小・中学校空調設置事業は今年度の補正予算により、全ての小中学校の理科室・音楽室各1教室へエアコンを設置しています。令和4年度は引き続き特別教室へのエアコン設置を進めるため、新たに事業立てし、令和7年度までの4年間で、小学校は図工室・家庭科室の計2教室、中学校は美術室と2教室ある残りの理科室・音楽室など計3教室へエアコン設置を進めます。

最後に、小中学校就学援助費補助事業で、就学援助の対象者は10年前の平成23年度では658名援助率4.7%でしたが、5年前の平成28年では874名援助率6.3%、1年前令和2年では1,165名援助率8.5%と年々増加しております。本年度の予算編成時点で1,125名と増加傾向にあることから令和4年度は前年度比8.1%、867万8千円を増額し1億1,574万9千円を計上しています。

学校給食課

○令和4年度新規事業の予定はありません。大原学校給食センターと単独調理場の施設管理事業が、令和3年度に先送りした設備・機器の修繕料を計上したため事業費が増額しています。

ながふじ学府共同調理場施設管理事業については、開設時の瑕疵担保期間が満了したため、新たに管理及び保守委託料を計上したことにより増額となっています。

また、学校給食食材調達事業は豊岡地区の持参米飯見直しに伴い、主食費を新たに計上したため増額しています。

学校教育課

○初めに、学校 ICT 環境推進事業については、学校間ネットワークのミライムのことで、ネットワークの中で新規リースになる機材があり、その中で使える物はリースを延長して節約するということがその金額が減額になっています。

次に、小学校教育事務（事務局分）、中学校教育事務（事務局分）は、いわた創生ラボの中で子ども達の学びを応援する充実した質の高い学びということで各校 50 万円ずつ予算の方を計上しています。50 万円については、各校で普段学校の予算では来ていただけないような講師に来てもらうことや、質の高い芸術を見るなど、学校の裁量で子どもの学びを応援することに活用します。

次に、GIGA スクール構想推進事業（小学校）ですが、今年度 ipad の使用開始が 9 月以降になっていて、来年度は丸々 1 年間使えるということで 4 月から 8 月分のリース料がプラスになっています。

最後に、中学校教材等整備事業（学校教育課分）ですが、令和 3 年度に中学校の新しい教科書の使用が開始になりました。それに併せて教師用の教科書及び指導書の整備が大幅にかかったため、令和 4 年度はその分が減額ということになっています。

中央図書館

○初めに、図書館施設管理事業については、474 万 3 千円の差額となっていますが、主な増額理由として、令和 4 年 10 月から図書館システムの更新に伴うシステムリース料の増額となっています。この更新により、非接触型サービスとしてセルフ貸出機の導入やスマートフォンを利用した利用者カードの導入を予定しています。

次に、図書館資料整備事業については、163 万 8 千円増となっています。主な増額理由は、令和 3 年度に一旦休止した地域資料等の電子化を令和 4 年度に再開するための委託料 154 万円の増額です。

子ども読書活動推進事業と図書館視覚障害者サービス事業については記載のとおりです。

最後に、ながふじ図書館運営事業ですが、216 万 6 千円減となっていますが、主な減額理由は令和 3 年度の開館に合わせて予定していた機器の購入について、検討していく中で、購入はせずに使用できる中央図書館の機器を使用し、ながふじ図書館に配置しました。そのことにより、令和 4 年度の前算計上の必要がなくなり減額となっています。

文化財課

○新規事業はありません。主な事業として遠江国分寺跡整備事業です。平成 28 年度に策定した整備基本計画に基づいて整備を進めている所で、敷地北側から順次、樹木の伐採や造成工事等を現状進めているところです。令和 4 年度も今年度同様、造成工事と基壇の復元等を図る工事費の計上をしています。財源となる国の補助金の交付決定が新年度に入ってからありますので、最終的には国の補助金の交付決定額に合わせた事業整備を進めていきたいと考えています。

補足ですが、事業費予算額で 5,695 万 1 千円の減となっていますが、これは令和 3 年度にありました用地取得費にかかる額が令和 4 年には無いということで、主な工事にかかる経費の増減はありません。

< 質疑・意見 >

■スポーツ振興課の体育施設管理事業の、工事請負費において新たに大規模修繕を行うため 9,164 万円の増額とありますが、大規模修繕の内容について教えてください。

□主に福田屋内スポーツセンターの外壁と空調、福田南島体育館の屋根、アミューズ豊田のリモートユニットの交換などを予定しています。

■ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業の中で、移動用バスの台数が増えた理由を教えてください。

□これまでヤマハスタジアムに近い学校の子供達は徒歩でしたが、全校バスにしたためです。

■教育総務課の小・中学校施設空調設置事業ですが、令和7年度まで引き続き行うとのことですが、4年間で特別教室の全てに空調を付けるには時間がかかるということでしょうか。

□特別教室は難しく言うと文部科学省の定義で、生徒会室などの細かい所も特別教室扱いになるのですが、特別教室で利用頻度が一番高い理科室、音楽室、図工室、家庭科室など、学校の要望も大きい所は全て7年度までに設置していこうと思っています。

■学校給食食材調達事業ですが、豊岡地区持参米飯見直しというのは、これまでご飯を家庭から持っていったものを止め、学校で用意するという意味ですか。

□そうです。当然その米飯分も給食費に上乗せされますが、歳入と歳出で上乗せする必要があるため予算計上しています。

■食事は少しでも家庭で子どものために用意をするべきものだとよく言われていて、少しどうかとも思いましたが、家庭にとってはとても楽なことだと思います。

□保護者の要望が半数を超えてきましたので、コロナ禍という理由もありますが、衛生管理の面でもその方が望ましいということで、持参米飯を見直し、学校で提供するという方向転換をさせていただきます。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第2号は原案どおり承認された。

・議案第3号 令和3年度磐田市一般会計補正予算（教育費関係）の要求について

○今回の補正は歳出で12の事業について補正をしています。その内、国の補正予算が昨年12月20日に成立し、市町への補助事業が予算化されたことから、この補助金を財源として事業を執行するものは8事業あります。

コロナ対応等に関する幼稚園教諭や放課後児童クラブ支援員等の処遇改善で、これは2月から収入を3%程度引き上げるものですが、それに関わる経費の増額は4事業、コロナ対策の保健衛生用品調達やシステム導入は4事業です。その他に工事の進捗による減額が2事業、寄附金の受領による基金設立が1事業、退職者の増加見込みによる手当の増額が1事業などになります。

次に、繰越明許費ですが、10款1項2目ながふじ学府新たな学校づくり整備事業の工事請負費は、一体校の整備完了後に東側道路の舗装改修工事を追加で実施することになったため、工期が不足してその部分を繰り越しするものです。

次に、国の補正予算を財源に実施する事業の内、消毒液など保健衛生用品を調達する事業、システムを導入する事業については事業期間の不足から経費の全額を令和4年度に執行するために繰り越しするものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第3号は原案どおり承認された。

・議案第4号 磐田市スポーツ夢基金条例の制定について

○スポーツを通じて子ども達の健全育成を行うという趣旨で、市内に本社を置く企業から寄付金を頂ける申し出がありました。この寄付金を有効活用するために基金を創設することとして、基金管理や運用報告等に関して定めた条例を制定するものです。

条例案については資料をご覧ください。影響等については、2月補正予算で寄付金の歳入と積立金の1千万円を計上する予定です。

<質疑・意見>

■利用用途を教えてください。

□基本的には、子ども達の健全育成というのが大前提になっていて、著名人の方をお呼びし、スポーツ教室を行うなど、具体的な利用方法については今後詳細を検討していきたいと考えています。

■部活動への支援は予定していますか。

□予定していません。

■財源の寄付金は企業から毎年頂き、基金として積み立てていくということですか。

□そうです。

■その企業は何社ですか。

□現在承知しているのは1社ですが、今後、主旨に賛同していただける企業があれば、基金に積み立てていきたいと思えます。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第4号は原案どおり承認された。

・議案第5号 磐田市豊岡総合センター条例の一部改正について

○今回、改正することに至った経緯の最大の要因は、このセンター内にある磐田市豊岡農村民俗資料館の閉館に伴うものになります。閉館理由については、昭和55年に農林水産省の補助金を使いながら整備された農業関連の民俗資料の展示施設となっていましたが、平成24年頃、センター全体の施設の見直しがあった際に、民俗資料館については廃止・閉館・取り壊しという計画となりました。しかし、建設時に国の補助金を頂いているということで、用途の変更や廃止にストップがかかり、それを実現するためには補助金の返還等が発生する恐れなどがあったため、安全性の危惧はありましたが、そのまま現在に至るまで公開施設としての機能は保持していました。

昨年改めて中遠農林事務所を通じて確認をしたところ、法改正があり、国が何年間は保持しないといけないという制限が緩和されたということが明らかになり、既にその年月は経過しているということで、耐震性はこの施設になく、一般公開する施設としての機能は廃止をしながら、中に入っている民具等の歴史的な展示物は場所を移設する代替えの場所がありませんので、保管庫として当面は使います。

以上のことから、一般開放を取りやめるということで、磐田市豊岡総合センター条例から削除します。また、条例の別表第1の2に磐田市豊岡農村民俗資料館が削除されることに伴い、磐田市豊岡児童遊園が一つ残る形になりますが、こちらは別表第1のその他施設へ記載するため、別表第1の2が全て削除されるといった条例改正となっています。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第5号は原案どおり承認された。

・議案第6号 磐田市指定有形文化財の指定について

○こちらは彫刻になりますが、府八幡宮が所蔵する彫刻計7点になります。こちらはこれまで市指定の文化財にはなっていませんでしたが、令和3年12月15日に磐田市文化財保護審議会の中で、これらの指定に関することを検討し、指定文化財にしていくことが妥当であるということで答申をいただきました。磐田市文化財保護条例の中では、この指定に関する決定は磐田市教育委員会が指定できると定められていますので審議のお願いをするものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第6号は原案どおり承認された。

・議案第7号 磐田市指定史跡の指定について

○堂山古墳群の中の3号墳、4号墳の2つの古墳について史跡の指定をするものです。こちらも磐田市文化財保護審議会でも審議し、非常に歴史学習の資料としても価値が高いということで、市指定の史跡としていくことが妥当であると答申をいただいていますので審議をお願いするものです。

<質疑・意見>

■堂山古墳群の種別が記念物（史跡）となっていますがどういう意味ですか。

□文化財は有形文化財、無形文化財、民族文化財、史跡名称天然記念物、保存技術に関するものと建造物の保存地区というように、文化財の中でジャンルが設けてあります。その中の一つが史跡です。国分寺も史跡ですが、同様に土地そのものに価値があり、形状そのものに価値があるといった意味で文化財の上でも史跡というカテゴリーで堂山古墳群について登録するということです。

<議案の承認>

審議の結果、議案第7号は原案どおり承認された。

・議案第8号 磐田市小中一貫教育の推進等に係る市費負担教員の任用等に関する条例施行規則の一部改正について

○妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置に関わる人事院規則の改正に伴い、市の職員も改正することから、ふるさと先生市の市費負担教員の任用等に関する条例施行規則も一部改正するということです。具体的な内容は、不妊治療休暇（出産サポート休暇）を新設するという内容になっています。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第8号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 地域づくり応援課

<質疑・意見>

■インターナショナルフェアについて教えてください。

□主催は国際交流協会です。市が共催という形を取っていました。外国文化を知っていただくのと、コロナ禍でなければ地元のキッチンカー等を用意して食材を食べてもらうなど色々な企画をしていました。一昨年までは磐田市独自で開催していたのですが、多文化共生ということで広域的に袋井市、掛川市と合同で、会場はららぽーとで分散して展示しました。コロナ禍ではありましたが、多数の人が来てくれました。

(2) 幼稚園保育園課

<質疑・意見>

なし

(3) 教育総務課

○実施事業の予定にある教育委員会視察は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、中止とさせていただきます。

○向陽学府小中一体校整備基本・実施設計業務委託受託候補者選定プロポーザル二次審査について、令和4年1月12日水曜日午後1時15分から西庁舎3階304・305会議室にて実施しました。1次通過者5社によるヒアリングを行い、その後の採点結果表から審査を行った上で最高得点者と次点者を決定しました。審査の結果、1位を付けた委員が最も多かった、株式会社山下設計中部支社が受託候補者として選定され、次点者は2番目に1位獲得票が多かった、シーラカンスケイアンドエイチ株式会社が選定されました。本審査の結果については市ホームページで公開しています。

今後の予定ですが、2月上旬に契約締結予定です。来月2月から本年7月まで基本設計を、本年8月から翌年7月まで実施設計を予定しています。

- ・磐田市放課後児童健全育成事業費補助金交付要綱の一部改正について
- ・令和4年度放課後児童クラブ利用申請状況について

<質疑・意見>

なし

(4) 学校給食課

○実施事業の予定にある第4回磐田市立学校給食運営委員会ですが、2月3日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、会議の開催を見送り、書面による決議で行うこととしました。また、給食調理等業務委託事業者選定プロポーザルですが、磐田中部小学校を令和4年度から給食調理業務の民間委託を考えており、その業者の選定のためのプロポーザルですが、こちらも業者が遠方の所が多いため、リモートでプレゼンテーションを行い、選定委員は市役所に参集いただき審査を行う方式に変更しています。

<質疑・意見>

なし

(5) 学校教育課

- ・令和3年度中学校スポーツ部活動外部指導者の委嘱について

<質疑・意見>

なし

(6) 中央図書館

○実施済事業の第2回図書館協議会ですが、1月26日の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、書面開催に変更しました。

<質疑・意見>

なし

(7) 文化財課

○実施事業の予定にある文化財保護審議会天然記念物部会は延期となりました。また、文化庁主催マネジメント研修は千葉県市川市で開催されますが、こちらはリモートでの参加となりました。

<質疑・意見>

なし

6 協議事項

なし

7 その他

○中央図書館で行われました磐田の近代教育の展示会へ1月15日の土曜日に伺いました。磐田北小学校の模型が展示されているということで、私も当時木造の校舎に通っていて、実際に見せていただき、我々が通っていた頃は南側の木造校舎の2棟しか記憶にありませんでしたが、たまたま展示会に模型を作られた方がご夫妻で来られていて、3年間をかけて作られたお話をお聞きできました。また、当時の戦時中の学校に通われていた方から終戦頃のお話を聞かせていただき、B-29の空爆時にどこに爆弾が落とされた、誰が亡くなられたなど、色々なお話を伺って非常に貴重な体験でした。このようなお話も今の子ども達にできるとより身近に感じられると思いましたので、当時のことを知っている方にお話いただくのも良いと思いました。また、模型を見て感じたことは、昭和の初期にプールが磐田北小学校に作られていて、当時から水泳に取り組まれていたのだと驚きました。

■現在の小中学校の活動、部活動の状況、校外活動について状況を教えてください。

□部活動については、校内の活動のみとし、感染対策を十分に行い、短時間かつ非接触になるように感染予防に努めています。現在は練習試合を含めて一切行っていません。イベント等については、感染対策を十分にやった上で、学校規模や年齢など、その学校や学年などの判断で実施しています。

■去年は修学旅行などを3月にずらしていましたが今年の状況を教えてください。

□小学5年生でやる宿泊訓練を6年生に持ち越すというように決めた学校もあると聞いています。
□観音山少年自然の家の宿泊訓練を予定している学校がありますが、感染対策を行い実施の方向で考えたいと校長から聞いています。

○2月6日に予定していましたが、いわた俳句大会の表彰式及び俳句未来塾ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、中止させていただきます。また、昨年と同様、優秀作品を載せた作品集を作ります。

8 次回教育委員会の日程確認

- ・定例教育委員会

日時：令和4年2月17日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

9 閉会